

CLUB NEWS

クラブニュース

・本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。[夏号原稿締切：5月20日]
 ・原稿を送る場合の文字数は、最大でも1行19字詰め50行程度とします。
 ・文字量が多い場合は掲載をお断りすることがあります。

原稿入稿について

- 文字数最大=19字詰め50行程度
- 締切=掲載希望月の前々月の20日
- 記号の意味
- 時日時 場場所 内容 周波数(モード) 申込(申請, 書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格 Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

EVENT イベント

山口県マイクロ波帯入門研修会

◇マイクロウェーブ山口 33-4-1 1.2GHz以上の周波数帯に興味を持つアマチュア無線家のための研修会。(株)コスモウェーブの講演・展示等を予定 6月8日(日)09:00~15:30 場山口県セミナーパーク研修室103 <https://www.hito21.jp/seminarpark/> 事務局 JO4GHW 村田行雄 Eメール jo4ghw@jarl.com https://www.c-sqr.net/c/microwave_yamaguchi

CONTEST コンテスト

第1回電通大VUSコンテスト

◇電通大クラブ 10-2-2 5月5日(月/祝)12:00~18:00(JST) 国内のアマチュア無線局およびSWL 144~10GHz帯 <電波型式>: AM, SSB, FM, CW (F2AはFMを含む) <部門>○シングルオペオールバンド ○各シングルバンド ○V/UHF ○SHF ○こども(18歳以下) ○ヤング(開局2年未満) ○マルチオペオールバンド ○SWL <呼出>○電話「CQ UEC コンテスト」○CW「CQ UEC TEST」<コンテストナンバー>市郡区ナンバー <得点>各バンド各電波型式ごとに1点 ※2400, 5600MHzは2点, 10GHzは3点, CWは各バンド得点2倍とする ※SWL局の得点も上記に準じる <マルチプライヤー>異なる市郡区ナンバー数 <総得点>○シングルバンド: 得点の和×マルチバンド: 各バンドの得点の和×各

バンドのマルチの和 書類提出フォーム ATS-4 (<https://uectest-vus.jalzgp.com/>)にて必要事項を記入の上、ログファイルを添付して5月19日までに提出。自動応答メールが2~3日経っても帰ってこない場合は問合せ先まで uectest-info@jalzgp.com <結果発表>JA1ZGPのウェブサイトに掲載。部門コード、個人情報取扱い、禁止事項、その他詳細はウェブサイトを確認 <その他>JARLコンテスト規約に準じる <https://www.jalzgp.com/>

ACCロケーターコンテスト 2025

インターナショナルアワードチェイサーズクラブ(ACC)1エリア支部10-4-139 430MHz帯の活性化 ○6桁グリッドロケーター(以下GLと略)の普及 6月16日(月)00:00~22日(日)23:59 ○7日間のマラソンコンテスト 国内アマチュア個人局 ※社団局はACC支部所属社団局(JN1YMP, JN1ZGI, JI2YZV)および本部社団局(JE4YOL以下ACCクラブ局と略す)のみ。これらのACCクラブ局は得点サービスの運用 ※一般社団局(クラブ局)は除く 430MHz帯 ※モードは全て、種目は設けない <参加部門>○メンバー部門 ○一般部門 <呼出方法>○電信「CQ ACC CONTEST」○電話「CQ ACC コンテスト」<コンテストナンバー>RS(T)レポート(+M: ACCメンバー)+GL ○データ, 画像, ATV, デジタル等は電話や電信に準じる ○日が違えば運用地の変更とACCクラブ局と重複交信可 ※ログに運用地の市郡区町村ナンバーあるいは名等を記入 ○ロールコール中の交信有効 <禁止事項>○呼出周波数における呼出・交信 ○2波以上の同時電波発射 ○レピータの使用 ○ACCクラブ局を除きモードに拘わらず同一局との重複交信 ○一般社団局(クラブ局)との交信 ○メンバー局の一般局としての参加 <得点>○ACCクラブ局+GLの交換交信: 5点 ○ACCメンバー局+GLの交換交信: 3点 ○一般局+GL交信: 2点 ○GLの交換のない一般局, メンバー局との交信: 1点 <マルチプライヤー>運用日数(最大7マルチ)×異なるGLの数 <総得点>得点合計×マルチプライヤー <チェックリスト>交信局数100局以上は

チェックリストを提出 <失格事項>○提出書類の不備(文字判読困難な書類など)○虚偽の報告 <審査>提出されたログ内容を事務局にて審査し禁止事項に抵触する書類は失格 <入賞>メンバー部門と一般部門それぞれ1位2位3位の入賞局に賞状を送る ○同得点の順位は最終交信の日時間が早い局が上位 <参加賞>ログ提出時に(110円切手を貼り住所氏名と郵便番号を記した長型4号封筒)の同封筒に送付 <結果発表>ACC BT9月号とACC HPに掲載予定 甲JARL形式のサマリーシート・ログシート(A4判)または同等のものに必要事項を記入して郵送 ○メール添付提出: JARL推奨R1.0, EXCELファイル等 甲 国千206-0001 東京都多摩市和田157-1-503 ACC#2372 多田良平 7L3IUE 国 SASEまたはacc2372-7l3iue@rainbow.dti.ne.jp 7月22日(必着) ○CTESTWIN(4.33以降)に対応。詳細・定義ファイル(ACC.md)は(<https://www.jarl.com/acc/ctestaccinfo.html>)

2025JAG QSOパーティー (WARCバンド部門)

◇ジャパン・アワードハンターズグループ(JAG)11-4-12 一般局同士も有効 7月12日(土)6:00~13日(日)17:59JST 10/18/24MHz帯 全てのアマチュア局, SWL <参加部門>会員局, 一般局を以下の3各部門 ○電話部門 ○電信部門 ○デジタル部門 各部門別々にエントリー可 ※最高で3部門 <交信相手>○会員局・一般局は全アマチュア局 ○SWL: 会員局, 会員局がおこなっている交信の受信 ※同一局の連続受信は不可 <レポート交換>○会員局: RST+M ○一般局: RSTのみ ○デジタル部門: 通常交信 <呼出>○電話「CQ JAGパーティー」○電信「CQ JAG PTY」書○JARL形式のログ○サマリー参加部門には以下のように記入 .コードナンバー欄: 会員番号 ※一般局は空欄・名称欄: 例「会員・電話」「会員・電信」「会員・デジタル」「一般・電話」「一般・電信」「一般・デジタル」「会員SWL・電話」等 <賞>10局以上と交(受)信した書類提出者にQSOパーティーステッカーを発行 ○サマリー意見の欄に「ステッカー希望」「ステッカー不要」「ステッカー・台紙希望」の何れかを朱書きで記入 ○ステッ

カーを希望：住所・氏名を記入し110円切手を貼った返信用封筒を同封 ○ステッカーとステッカー台紙の両方を希望：宛名ラベル(手書き可)と切手180円分を同封 ㊟8月5日(火)消印有効 ㊟郵便：〒286-0036 成田市加良部4-22-4-103 伊南栄治方 JAGパーティー事務局 ○Eメール：jm1atf@jarl.com <その他>書類提出のみ(ステッカーなど不要)の場合、メールによる書類提出を受付。提出先のアドレスまで ○ファイル添付する場合：txt形式またはcsv形式 ○サマリーシート・ログは、マルチ・得点欄が空欄で構いませんが、サマリーシートの交信局数欄は記入

第7回鶴見川コンテスト入賞局

◇横浜鶴見クラブ(JA1YJY) 11-1-64 ㊟2024年11月3日実施丸数字：順位 [流域内RS] ①JM1LRQ ②JH1LTR/1 ③J11UPL/1 [流域外OS] ①JK1XDB ②JQ1VDJ/1 ③J11PUC/1 [QRP流域内RS] ①JF1ELR ②JA1AGH ③JF1JDG [QRP 流域外 OS] ①JR1UJX/1 ②JA1CCX/1 ③JQ1IBI

オール旭川コンテスト

◇ハマラジオ大雪クラブ 01A-1-1 ㊟6月14日(土)21:00~6月15日(日)15:00 ㊟日本国内のアマチュア無線局 ※JARL主催コンテスト使用周波数帯を使用すること <参加部門の周波数帯とモード> ○HF(3.5/7/14/21/28MHzの電信電話) ○VUHF(50/144/430MHzの電信電話) ○ALL(3.5/7/14/21/28/50/144/430MHzの電信電話) <呼出方法>○電信「CQ HRTC TEST」 ○電話「CQ 旭川コンテスト」 <コンテストナンバー>○RST符号によるシグナルレポートと運用地のJCC, JCGナンバーを交換 ※JCCの区ナンバーは東京都だけ、注意 ○JA8YID局, HRTCクラブ員, メンバー局はM局と言い, RST+JCCまたはJCGナンバー+M送る <交信上の禁止事項>○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波の同時発射(マルチオペは除く) ○同一バンド内の交信は電波型式が異なっても一回 <得点>○9点:M局(JA8YID局, HRTCクラブ員, メンバー局)との交信(メンバー局は全国にいます) ○9点:旭川市内で運用する局との交信(移動も可) ○6点:旭川市内を除く北海道内で運用する局との交信(移動も可) ○3点:国内で運用する局との交信(移動も可) 注1)(移動も可)とは、その地域に来て運

用するとその地域の得点(旭川または北海道) 注2)M局は他エリアで運用してもM9点を送る 注3)ロギングソフトによって得点認識方法が異なります、規約以外の記号やアルファベットを使用した場合はその旨意見欄に記入 例)「Zlogの場合JCC, JCGの後ろにM, A, H, Tを付けると得点が反映される M M局9, A旭川市9, H北海道6, T他エリア3」 <マルチブライヤー>各バンド内の異なるJCCまたはJCGナンバーの数 ※JCCの区ナンバーは東京都だけ、注意 <総得点>各バンドで交信した得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和 ㊟集計作業迅速化で電子ログ(Eメール)にてお願いします ○電子ログ(Eメール)ig8lol@jarl.com ※件名に貴局のコールサインを半角大文字 ○郵送:JARL制定または同形式のものを使用 ㊟7月7日(月) ㊟〒071-8691 旭川郵便局私書箱49号 ハマラジオ大雪クラブコンテスト係 <失格事項>JARLコンテストルール失格事項に準じる <表彰等>○発表は8月初旬, 旭川コンテストのHP, JARL NEWS秋号または冬号に掲載 ㊟http://asahikawa-contest.jimdo.com/ ○表彰は各部門別1位~6位まで賞状を贈り, 各部門別1位に大人気の副賞ふるさと特産品を, 2位以下に厳正なる抽選で後日時期に進呈



2025年十勝クラブコンテスト

◇十勝アマチュア無線クラブ(JA8YAD) 01E-1-0001 ㊟5月17日(土)21:00~18日(日)21:00 ㊟日本国内のアマチュア無線局の免許を有するもの(個人局) ㊟7/21/28/50/144/430MHz帯電信電話部門のみ ※上記以外の周波数での参加はできない ※JARL主催コンテスト周波数帯を厳守 29MHz FM運用は28MHz帯に含む <部門>○管内局:十勝管内で運用する無線局(固定局・移動局) ○管外局:十勝管内, 以外の局, 十勝クラブ特別会員局(GM), 十勝クラブ員(M)移動局 <種目>○個人局シングルバンド(7/21/28/50/144/430MHzの各バンド事) ○個人局マルチバンド <呼出>「CQ十勝コンテスト」「CQ TC TEST」 <コンテストナンバー>○管内局:RS(T)+市町村名又は略記号+識別記号 ○管外局:RS(T)+都府県地域等名または都府県地域等ナンバー(番号) ※管外局の特別会員は識別記号(GM)マルチ適応です(都府県支庁番号)。十勝アワードAAA賞,

取得者のみ <十勝管内市町村略記号>帯広市OB 音更町OT 士幌町SR 鹿追町SK 新得町SI 清水町SM 芽室町ME 幕別町MS 池田町IK 豊頃町TO 中札内村NS 浦幌町UR 広尾町HI 大樹町TI 更別村SA 足寄町AS 本別町HN 陸別町RI 上士幌町KA <識別記号>○クラブ員:M ○AAA賞受賞している局:GM ○その他の管内局:O ○管外局:記号なし <得点>M局:5点, GM局:10点, O局:3点(管内局), 管外局相互(一般局)の交信, 記号なし局:1点 <マルチブライヤー>○管内局:異なる都府県・地域等ナンバー, 十勝管内19市町村 ○管外局:十勝管内19市町村, 管外運用のクラブ員(M), 特別会員局(GM)と交信した都府県・地域等ナンバーのみマルチ適用 ※マルチが1つ以上の場合はボーナスマルチが1ポイント加算 <総得点>○シングルバンド:当該バンド得点の和×当該バンドマルチの和 ○マルチバンド:各バンド得点の和×各バンドマルチの和 ㊟JARL様式または同等様式(サマリーシート, ログシート) <厳守>申請は1種目のみとし, 複数の申請は不可, 申請は郵送のみとし, 電子申請は受付不可, メール等に添付, 申請も不可 ※質問のみメールにて対応 ㊟6月17日(火)消印有効 ㊟〒080-0013 帯広市西3条南8丁目10 帯広郵便局私書箱1号 十勝アマチュア無線クラブ 十勝クラブコンテスト係 ㊟Eメール ja8xcv@jarl.com 神谷宛 ※結果等はJARL NEWS, CQ Ham radioに掲載予定 <その他>○各種目の上位入賞者に賞状を授与 ○同一バンド内での重複交信は電波型式が変わっても認めない ○コンテスト参加中は同一の都府県, 地域等(管外局)1市町村内(管内局)での移動は可能 ○十勝管内で移動運用局, 十勝クラブ特別会員局はその旨手書き ○十勝クラブ特別会員とは, アワード規定に基づき, ゴールドAAAを受賞した局(GM)



北陸新幹線開業記念アワード 終了のお知らせ

◇黒部アマチュア無線クラブ 28-1-7 ㊟北陸新幹線開業記念アワードは予定していた枚数を発行することができました。お礼申し上げます

アマチュア無線局免許の有効期間は5年です。有効期限切れにご注意！
免許状に記載の有効期間から6カ月前~1カ月前までに再免許申請を忘れずに！

本欄は、JARL会員の皆さんのおこなう行事等を掲載しています。(原稿ご送稿の文字数などは、クラブニュース欄と同様です)

イベント

第27回新茶サービス・記念QSLカード発行

◇JR2YIS金谷HC 4月3日～4月13日 日常時 ※社団局は13日20時まで <運用局>島田市金谷地区在住の無線局(個人・社団)、社団局構成員局 7MHz SSB・CW <内容>期間中に前記運用局5局以上(JR2YISを必ず含む)と交信した局に新茶をサービス 資格取得者は交信局宛の自局QSL、送料切手320円分、自局宛名ラベルを同封し、〒428-0006 島田市牛尾479-7 金谷ハムクラブ 斎藤辰美宛 4月16日消印有効 記念QSLは5種類あり。重複交信は無効。記念QSL交換のみはJARLまたはSASE 金谷HCのHP <http://jr2yis.g3.xrea.com/>

カードラリーGIFU2025「美濃の国岐阜三十一寺社巡礼」すざろく紀行

◇カードラリーGIFU2025実行委員会 4月1日(火)～9月30日(火) 期間中、メンバー局と31回交信する ※QSLカードの取得は不要。同一局とは1日に1回限り有効 ○メンバー局1局のみと31回交信するとオンライン申請とする ※一度申請に使用した交信データは、次回以降の申請には使用できない。申請は、複数回できるが、申請書1通ごとに申請料がかかる ○申請した局には、記念品を贈る(1回目の申請:真島のコールサインを刻印した表札サイズのアクリルプレート、5回目の申請:A5サイズのアクリルプレート、10回目の申請:B5サイズのアク

リルプレート、20回目の申請:カードラリー特製ダイヤリーと岐阜の名産品、それ以外の回数の申請:達成証 <その他>参加者全員で抽選、オンライン申請別枠抽選、豪華賞品用意 4月1日(火)～10月10日(金) 〒501-0232 岐阜県瑞穂市野田新田4010-9 JH2WFZ 上杉郷一 500円:定額小為替、振込、複数回まとめたの申請可 所定の申請書HPよりダウンロード goichi29@nifty.com メンバー局16局 JE2RPY, JG2EAT, JG2MNK, JG2RLF, JG3VCQ, JH0HOD, JH2LYU, JH2WFZ, JI2EQL, JI2FUI, JL2JRO, JL2JRN, JM2VHV, JO2BWZ, JQ2KPJ, JR2GEF 詳細は <https://qslcard2025.nomaki.jp/>

コンテスト

第40回6mAMコンテスト

◇3エリア6mAMロールコール・グループ 5月4日(日) 09:00～15:00 28/50/144/430/1200MHz帯 ○430MHz帯09:00～10:30 ○50MHz帯10:00～14:00 ○28MHz帯10:30～12:00 ○1200MHz帯12:00～13:30 ○144MHz帯13:30～15:00 <電波型式>AM(A3Eの全搬送波またはH3E) <部門>28MHzの部、50MHzの部、144MHzの部、430MHzの部、1200MHzの部、マルチバンドの部 <呼出>「CQ AMコンテスト」 <コンテストナンバー>RS+都府県地域ナンバー+使用送信機名(例) FT818ND, IC9700, TS600改, 自作<得点>異なる局との完全な交信を1点、自

作機・改造機を使用した局は完全な交信を2点 <マルチプライヤー>全国の異なる都府県・北海道の地域数+異なる送信機数 <各バンドの総得点>得点の和xマルチの和 <賞>参加局数に応じて全国3位まで。エリアごとに参加局数に応じて表彰 ○JARL制定のログ・サマリーシートまたはこれと同形式のもの ○書類は部門ごとに分けて作成 ○電子メールによるログ提出もOK、フォーマットは提出先まで問合せ可 5月31日(土)消印有効 〒569-1123 大阪府高槻市芥川町1-2-A-3002 竹中信雄または ja3xqq@nifty.ne.jp 提出先までEメール等で

ETC. その他

ハムフェア和文電信同好会 発行「和文局リスト」の情報収集と頒布

◇ハムフェア和文電信同好会 ハムフェア和文電信同好会では、2年に1回「和文局リスト」を発刊。本リストには、これまでに和文電信でQSOされた局を掲載。現在の第28版は3256局掲載。付録に全国の電信関連クラブ情報も掲載(サイレント局、免許状が現在無い局、和文電信を好まない局などは判明次第削除)この28版は、現在郵送で頒布(有料)。ご希望の方は下記へメールかはがきで連絡。次版(第29版)発刊のため、この2年間で新たに和文電信をはじめた局、再開した局、電信クラブの情報を集めます。2025年7月15日迄、下記メールあるいは郵便はがきでご連絡ください。新版は今年のハムフェア(8月23日、24日有明GYM-EXで開催)会場の「ハムフェア和文電信同好会ブース」で頒布(価格:会場で1,200円)。郵送希望の方は、下記和文局リスト担当宛てに連絡(郵送価格:送料込み1,500円) 渡辺 顯 ハムフェア和文電信同好会和文局リスト担当 jh1sfy@jarl.com 03-3867-3223 〒178-0063 東京都練馬区東大泉3-30-4

■電波は譲りあって使いましょう

アマチュア無線の運用を開始する際には、運用を開始する周波数で、他の局が運用をしていないか十分に確かめるのは当然として、自分の電波が他の無線通信に混信や妨害を与えないように、十分に注意しながら運用することが必要です。

アマチュア局の中には弱い電波の局もあれば、自分の受信機では単なる雑音としか聞こえない特殊な電波型式で運用している局もありますので、常に他の局に迷惑をかけることのない運用を心がけましょう。

■SSBモードでの運用について

アマチュア無線家の皆様の中には、日頃はFMモードによる運用が中心の方々も多いと思います。

SSBモードでのアマチュア無線の運用は、全世界的に3.5/3.8/7MHz帯ではLSB(下側波帯のSSB)、14MHz帯以上の周波数帯では、USB(上側波帯のSSB)を使用するという長年の国際的な慣習があります(衛星通信ではダウンリンクがLSBになる場合があります)。特にHF帯で運用される場合、LSB/USBの切り替えを忘れないように十分にご注意ください。